

時計

くれぶす

時計①

時計

私は時計である

無骨といわれるのは甚だ心外ではあるが、懐中時計である

生まれは前の世紀が始まったのとほぼ同時

今までに複数の主を持った

別に私が一箇所に留まる性質ではないわけではない

誰にでもやむをえない状況というものがあることを先ず念頭に入れて頂きたい

まあ、そんな必要性もないのだが

なにせ私のもった主というのは、時計仲間に聞いた話したが、あまり良くはなかったらしい

皆がなんといおうと私は主のことを尊敬している

と、口がさけてもいう気はない

私が生まれたのは維納というところだ

漢字しか覚えて居ないのだが、恐らく西欧であることは間違いない

私は露西亜のとある財閥の趣味の一つとしてこの世に生を受けた

私の値段は決して安いわけでも無く、大量生産されたものでも無いのだが

コレクションである数十個の懐中時計の一つとして扱われるのはいささか不満であった

いや、わがままを言う気はない

たしかに悪餓鬼の手に渡って木っ端微塵にされるよりは百万倍マシではあつたらう

まあ、そんな感じで私は手にとられることも無く、時を刻むことも無く

ガラスケースのなかで放置されていたわけである

ある日、財閥の一人息子が遠出に出かけるということがあって時計を一つ欲しいと言い出した

息子は特に時計に思い入れはなかったので一番近くにあった私が選ばれることになった

息子は何かの仕事で日本に行くこととなったのであつた

それまで私は維納から露西亜への旅以外は全くしたことがなかったので少々興奮し、時々時間を早く刻むことがあつた

時計としては最も恥ずべき行為なのだが、若気の至りと大目に見て欲しい

ある日、息子は町を歩き、道に迷つた

護衛はつけたがらない性質だつたといえれば話しもするする進み問題はないのだが

実際は吉原に行っていたので護衛から父親に話しが行くと不味いというその一点だけであつたのだが

そして結局道に迷い、川岸で泣き掛けていたのだ

そこに現れたのが3人目の主である

金髪に目をひかれ一体何事かとみると意味不明な言語でクスクスン無くいい年こいた大人がいるので興味深々一転哀

れみ100%で声をかけたのであつた

2人目の主は、つたない日本語で帰りたい道を教えてと言い、3人目の主はあいわかつた、俺に任せろとドンと胸を叩いた

結局家に着いたのは翌日の朝で、何が原因かと言うと意思の疎通が今一上手くいって無かつたのが一番であつた

しかし艱難辛苦を乗り越えた二人には奇妙な友情が生まれ、何か礼がしたいなんなりといってくれ、いやいや、日本男

児たるもの弱きをくじき強きを助けてなにかがおかしいな、まあ気にするな、いや、よしせめてこの時計をもらって

くれ

私かい！

心底絶叫したい気分であったが悲しいかな私は時計コチコチ以外の音は出すことは出来ない（派手に壊れれば心底気分のいい音がするだろうが試す気は無い

ということで私は良く知らん未開で下品（と、当時は思っていた）国に放置とは何てふてえ野郎だと当時は思っていたのだがまあそれも今となっては

悪夢へのスタートであった

3人目の主は心底いい人であったというと多少語弊が生まれる

確かに自分の本能・・・ではなく正義感に非常に忠実で、荷物を担いでいるおばあさんから無理やり荷を持ったときなど強盗の疑いまでかけられた、が、主の行動はその辺りでは有名らしくたいした問題にもならなかった

そしてその男にも将来を誓った女がいた

どぎつい紅をひき、腰をお前はベーコンエピかと言うほどくねらせた女

悲しいながらその男・・・じゃなくて主の趣味はいいとはいえなかった

しかしその女も主の前ではかいがいしく世話を見る、見かけとは裏腹に良妻、といっても結婚はして居なかったのだが、を演じていた

そして暫くし、日本と露西亜は戦争になった

そして男にも赤紙が届いた

主は興奮し、ようしこれでやっとお国のために働ける、と意気揚揚

女は呆れてか悲しみが驚きか何もいえずにいた

主は、俺が戦争にいつている間お前は家を守ってくれ、そして帰ってきたら結婚しよう、それまでこの時計を俺だと思って持っていてくれ

また私かい！！

女は薄く頷き、主を見送った

暫くして、女のもとに、主が死んだという知らせが届いた

良くある話しではあるが、それで私の主は女になった

私の新しい主はそれを見ると、くしゃくしゃに握りつぶしてゴミ箱に捨てた

そして何を思ったか私をもって外に出た

主もやはり普通の女（？）、心身ともに疲弊しているのだろう、少くくは付き合うかと思っていたら着いた場所は質屋

主よ、私は形見なのですが、もしもし？

私はかなりの値段で売りさばかれ新しい主は2時間で消え去った

しかも意気揚揚と

わたしは突然理解した

人生なんてくそつたれだってことを